

平成30年度事業報告

国は、高齢化や労働力人口が進展する中、人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業促進に向けて、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を拡充することとしています。そのためシルバー人材センター機能の強化が打ち出されています。働く意欲のある高齢者が能力や経験を活かし、現役世代のサポートなど社会参加をすることが求められており、その受け皿として、シルバー事業への期待はますます大きくなりました。

こうした中、平成30年度は、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）にコーディネーターを配置し、受注活動を積極的に推進しました。また、高齢者が地域の担い手として活動を推進するため、「介護予防セラピーサロン事業」を継続し、国及び府中町から補助金の確保に努めました。

会員数は、普及啓発に伴う入会促進のチラシ等を全戸配布し、会員の増強に努めた結果、403人となり、11年ぶりに400人台を確保することができました。しかし、全国シルバー人材センター事業協会が掲げた「会員100万人達成計画」（平成30年度から令和6年度）における当センターの当該年度の目標数は411人であったため、僅かに達成することができませんでした。

事業実績につきましては、受注件数、契約金額ともに減少となりました。請負・委任、派遣事業等を含めた契約金額は、公共からの委託業務を含め、前年度の水準を下回らないように努めましたが、7月の豪雨災害による影響で公共施設管理業務が縮小されたことなどで、減少ということとなりました。

当センターは平成30年度も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」を基本とし、会員の安全就業と適正な就業機会の提供とともに、新規会員及び就業機会の拡大に向けた取り組みを進め、魅力あるセンターを目指して事業を進めて参りました。

以下、諸事業の実施状況を報告します。

(1) 事業運営の健全化と組織体制の強化

公益社団法人として、公益性を重視した事業運営に徹し、公平・公正透明性のある事業運営を推進しました。

また、国や府中町からの補助金を有効に活用し、役・職員を始め口コミによる会員の受注活動を積極的に推進し、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）を推進し、介護育児支援業務や地域における人手不足分野等への取組みを拡大しました。

(2) 会員の増強

第三次中期計画の会員数（平成30年度は395名）を目標とし、一般家庭を対象として福祉・家事援助を始めとする地域貢献ができる事業展開を図り、女性向けの就業機会の確保と女性会員の入会促進に努めました。

また、各種イベントに積極的に参加し、センターの普及啓発とともに、正会員・特別会員の増強に努めた結果、前年度より7人（うち女性5人）の増員となりました。

(3) 普及啓発活動の強化と実践

広報誌「安芸府中シルバーだより第37号」を町内全戸配布により、住民にシルバー人材センター事業の普及啓発及びPR活動を行いました。シルバーだよりは、会員のインタビューを中心に就業の場を紹介する特集を組みました。

また、会員には「事務局だより」を発行し、センターの情報提供に努めました。町内の各種イベントに積極的に参加して、関係団体との交流を深め、チラシ等を配布してシルバー事業の普及に努めました。

(4) 就業機会の拡大と就業場所の確保

就業機会の創出のため、個人、民間事業所、公共機関へ巡回や訪問を行い、会員に適した新たな就業機会の開拓に取り組みました。また、会員の就業の観点から、体験就業の場を増やし、就業のミスマッチを防ぐとともに未就業者が少なくなるよう努めました。

(5) シルバー派遣事業の取組み

広島県シルバー人材センター連合会の労働者派遣事業実施事務所として、センターの会員を対象に労働者派遣による就業機会の提供を行うとともに、民間事業所等へ労働者派遣のPR活動を行い、就業機会の拡大に努めました。

(6) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

高齢化や労働力人口の減少が進行する中、多くの業種における人手不足分野や介護及び育児等の現役世代を支える分野において、シルバー派遣事業は確実に拡大しており、育児・介護等の就業分野に、女性の会員の就業機会創出の拡大を図りました。

(7) 地域就業機会創出・拡大事業の取組み

国等からの補助金を有効活用して、府中町と連携を図りながら、介護予防事業として「セラピーサロン事業」を理学療法士の指導を得ながら、事業の充実に努めました。

(8) 安全・適正就業の推進

安全就業は全てに優先する重要課題であり、就業における「安全第一」を基本に、安全巡回指導、パトロール、安全講習会を実施したところですが、賠償事故は2件（前年度2件）、傷害事故は1件（前年度4件）、車両事故は3件（前年度1件）でした。引き続き「安全就業対策推進実行計画」に基づき、事故防止の徹底を図ってまいります。

適正就業につきましては、適正就業基準要綱の見直しを行いました。

(9) 会員の就業技術の向上

日本樹木医広島県支部の理事を講師に迎え、会員及び入会希望者を対象に、剪定の基礎講習として、樹木の種類別の剪定期期の違いや開花習性、技術面の刈込等、植木剪定講習会を行いました。

(10) 社会参加活動の推進

シルバー事業に対し、広く地域社会の理解と協力を得るため、10月第3週土曜日「シルバーの日」の10月20日に会員及び役職員52名が参加し、センター周辺の清掃作業の社会奉仕活動を行い、シルバー事業の社会的意義を強くアピールしました。

また、不審者から子どもを守るために、会員が登下校中の子どもの見守り活動に協力しました。